



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社エスケーエレクトロニクス 上場取引所 東
コード番号 6677 URL <https://www.sk-el.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 昌徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 向田 泰久 TEL 075-441-2333
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	21,229	△3.6	4,657	△16.2	3,387	6.8	3,769	28.7	2,596	24.0
2025年9月期第3四半期	22,032	12.2	5,556	27.2	3,172	40.0	2,929	22.7	2,094	20.1

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 4,285百万円(44.2%) 2025年9月期第3四半期 2,971百万円(2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年9月期第3四半期	円 銭 249.90	円 銭 —
2025年9月期第3四半期	201.72	—

(注) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年9月期第3四半期	45,404	37,536	82.7	3,610.34
2025年9月期	42,519	34,590	81.4	3,331.11

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 37,536百万円 2025年9月期 34,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	130.00	130.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	152.00	152.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,500	4.5	6,500	△9.3	4,600	19.4	4,600	19.6	3,200	307.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期3Q	11,368,400株	2025年9月期	11,368,400株
2026年9月期3Q	971,493株	2025年9月期	984,193株
2026年9月期3Q	10,390,867株	2025年9月期3Q	10,384,228株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調が継続しました。一方で、長期化する地政学リスクなどを背景とした原材料価格の高止まりに加え、米国の通商政策や関税措置、日米欧の金融市場の変動などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、フラットパネルディスプレイ業界におきましては、サッカーワールドカップに向けたテレビの買い替え需要が一服し、液晶パネル価格は概ね横ばいで推移いたしました。モニター、ノートパソコン、タブレット等のIT製品向けでは、OSのサポート終了やAI搭載パソコンの普及を背景に、また車載パネル向けでは、採用箇所の増加や大型化を背景に、高精細化・高機能化に対応した液晶パネルの開発が継続して行われました。さらに、スマートウォッチ等のウェアラブル向け有機ELパネルの開発も継続して行われました。加えて、第8世代有機ELパネル工場については、2026年6月に中国の工場で量産開始が発表され、その他の工場についても、量産立ち上げに向けた工程が進展しております。

一方で、スマートフォン市場は足元では弱含みで推移しており、スマートフォン向け有機ELパネルについても出荷数量が減少するなど、パネル開発が慎重となる動きもみられました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高につきましては、212億29百万円（前年同期比3.6%減）となりました。利益につきましては、営業利益33億87百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益37億69百万円（前年同期比28.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億96百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。なお、売上高はセグメント間取引の相殺消去後の数値を記載しております。

(大型フォトマスク事業)

大型フォトマスク事業においては、中国市場ではスマートフォン向け有機ELパネル用の需要が減少し、日本市場においても前第3四半期連結累計期間に好調であったVRデバイス向け液晶パネル用の需要が低調に推移しました。

	2025年9月期 第3四半期連結累計期間	2026年9月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	21,850百万円	20,532百万円	△6.0%
営業利益	3,454百万円	3,558百万円	+3.0%

(ソリューション事業)

ソリューション事業においては、RFID分野では「電子ペーパータグ」、ヘルスケア分野では「デジタルコルポスコープQ-CO」の売上が増加しました。

	2025年9月期 第3四半期連結累計期間	2026年9月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	56百万円	78百万円	+38.7%
営業利益	△209百万円	△224百万円	—

(スクリーンマスク・メタルマスク事業)

2025年5月に連結子会社化したアサヒテック株式会社の数値となります。当事業における主要製品は、スクリーンマスクおよびメタルマスクです。スクリーンマスクは、車載ガラスや電子部品の印刷工程に、メタルマスクは、半導体パッケージなどの製造におけるはんだペーストの印刷工程などに使用される、高精度な製造用原版です。なお、連結累計期間が異なるため、増減率の記載は省略しています。

	2025年9月期 第3四半期連結累計期間	2026年9月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	125百万円	619百万円	—
営業利益	7百万円	53百万円	—

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて28億85百万円増加し454億4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金や有形固定資産、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて59百万円減少し78億68百万円となりました。これは主に、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加した一方で、電子記録債務が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて29億45百万円増加し375億36百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2025年11月10日に公表いたしました「2025年9月期決算短信」から変更はありません。なお、通期の個別業績予想については、変更を行っております。本日公表いたしました「2026年9月期通期個別業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,684,641	10,747,590
受取手形及び売掛金	8,638,526	6,680,272
電子記録債権	100,570	8,797
商品及び製品	237,953	355,029
仕掛品	272,629	199,567
原材料及び貯蔵品	3,811,245	4,507,630
その他	1,807,569	1,277,715
貸倒引当金	△2,062	△1,416
流動資産合計	24,551,072	23,775,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,300,688	3,085,908
機械装置及び運搬具（純額）	9,221,408	8,852,567
土地	1,905,402	1,905,402
建設仮勘定	861,872	3,432,627
その他（純額）	383,633	412,594
有形固定資産合計	15,673,005	17,689,100
無形固定資産		
のれん	194,390	179,176
ソフトウェア	136,270	103,796
その他	101,490	99,339
無形固定資産合計	432,150	382,313
投資その他の資産		
その他	1,864,849	3,570,181
貸倒引当金	△1,800	△11,800
投資その他の資産合計	1,863,049	3,558,381
固定資産合計	17,968,206	21,629,795
資産合計	42,519,278	45,404,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,816,578	2,363,974
電子記録債務	1,735,992	1,186,482
未払法人税等	522,874	587,977
役員賞与引当金	51,366	51,732
その他	2,071,037	2,453,955
流動負債合計	7,197,849	6,644,121
固定負債		
役員株式給付引当金	179,080	176,598
その他	551,423	1,047,907
固定負債合計	730,503	1,224,505
負債合計	7,928,352	7,868,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,277,483	4,277,483
利益剰余金	23,524,064	24,751,732
自己株式	△1,185,999	△1,157,345
株主資本合計	30,725,270	31,981,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	755,065	1,916,286
為替換算調整勘定	3,107,959	3,586,669
繰延ヘッジ損益	2,630	51,805
その他の包括利益累計額合計	3,865,655	5,554,762
純資産合計	34,590,925	37,536,355
負債純資産合計	42,519,278	45,404,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	22,032,122	21,229,827
売上原価	16,558,453	15,404,188
売上総利益	5,473,668	5,825,639
販売費及び一般管理費	2,301,615	2,437,914
営業利益	3,172,052	3,387,724
営業外収益		
受取利息	21,882	36,654
受取配当金	26,735	26,270
不動産賃貸料	25,697	25,441
為替差益	—	302,947
その他	63,969	17,793
営業外収益合計	138,284	409,106
営業外費用		
支払利息	5,734	2,454
不動産賃貸原価	7,079	7,221
為替差損	252,156	—
支払手数料	116,051	7,254
貸倒引当金繰入額	—	10,000
その他	5	31
営業外費用合計	381,026	26,962
経常利益	2,929,310	3,769,868
特別損失		
固定資産除却損	568	7,555
関係会社株式評価損	—	28,000
特別損失合計	568	35,555
税金等調整前四半期純利益	2,928,741	3,734,312
法人税、住民税及び事業税	754,303	1,178,769
法人税等調整額	79,751	△41,104
法人税等合計	834,054	1,137,664
四半期純利益	2,094,686	2,596,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,094,686	2,596,647

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,094,686	2,596,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,011	1,161,221
為替換算調整勘定	809,467	478,710
繰延ヘッジ損益	△21,670	49,174
その他の包括利益合計	876,808	1,689,106
四半期包括利益	2,971,494	4,285,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,971,494	4,285,754

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社グループが保有する大型フォトマスク事業に係る機械装置について、従来は耐用年数を5年として減価償却を行ってまいりました。しかしながら、装置性能の向上に加え、フラットパネルディスプレイ市場における高精細化・高機能化が一定の水準に達していることを背景に、今後の技術革新の速度は緩やかになると当期において判断いたしました。これを踏まえ、当該機械装置の稼働状況を検討した結果、従来の耐用年数と経済的使用可能予測期間の乖離が生じることから、第1四半期連結会計期間の期首より耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,443,128千円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型フォト マスク事業	ソリューション 事業	スクリーンマ スク・メタル マスク事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,850,590	56,371	125,160	22,032,122	—	22,032,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,811	—	1,811	△1,811	—
計	21,850,590	58,182	125,160	22,033,934	△1,811	22,032,122
セグメント利益 又は損失 (△)	3,454,867	△209,375	7,263	3,252,755	△80,702	3,172,052

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、子会社株式の取得関連費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	大型フォト マスク事業	ソリューション 事業	スクリーンマ スク・メタル マスク事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,532,290	78,198	619,337	21,229,827	—	21,229,827
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	814	—	814	△814	—
計	20,532,290	79,013	619,337	21,230,642	△814	21,229,827
セグメント利益 又は損失 (△)	3,558,796	△224,805	53,733	3,387,724	—	3,387,724

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、当社グループが保有する大型フォトマスク事業に係る機械装置について、従来、耐用年数を5年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間の期首より耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、大型フォトマスク事業の当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は1,443,128千円増加しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,380,293千円	1,254,506千円
のれんの償却額	4,470千円	15,213千円